

令和元年度 島根県立大田高等学校 学校評価報告書

4段階評価：A－十分に達成できている状況 B－おおむね達成できている状況 C－どちらかといえば達成できていない状況 D－ほとんど達成できていない状況

評価の数値(%)＝総数における肯定的意見(4・3)の割合 * (0)わからないは除く [4:十分できている 3:大体できている 2:やや不十分である 1:不十分である 0:わからない]

教育目標	1 真理を探究し正義を愛する生徒を育成する	2 個性豊かで社会的資質に富んだ生徒を育成する	3 健康的で勤労意欲旺盛な生徒を育成する
------	-----------------------	-------------------------	----------------------

重点目標	学校評価項目	教職員評価	保護者評価	生徒評価	自己評価		学校関係者評価	
					評価	概評と改善策	評価	提言
主体的・対話的授業で深い学びに向けた	本校は、教室にあるICT機器(プロジェクター、タブレットなど)が活用されていますか。	90	81	93	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業においては、ICT機器の活用を一層推進し、主体的に対話を重視した授業を実践していきたい。また、授業アンケートの結果も踏まえながら改善を図っていく。 各教科ごとの授業公開に加えて、授業改善プロジェクトメンバーをはじめ研究大会等、授業公開の機会が多く、教員の研究の場が充実していた。特にジグソー法による授業実践が浸透しつつあり、次年度もそれぞれの教科でジグソー法を始めとするAL型授業を推進し、学校の魅力化のひとつとなることを目指していく。 スタディサプリを一層効果的に活用し、到達度を測りながら学力の向上を目指す。 小中高連携を一層緊密にして更なる学力向上を図っていく。今後は、長期的展望に立った学力育成に向け具体的な連携を始めたい。 図書館が校舎の奥にあり、不便ではあるが、学習のための利用や、休み時間に立ち寄り、話題の本や興味がある本を探す姿もよく見かけた。貸出数は12月末段階で昨年度より450冊も増加した。生徒の興味関心に繋がり、読書にいざなえるように「図書館だより」の内容、特集展示など一層充実させていく。図書館を訪れない生徒にも興味を持てるようより情報を発信していく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 図書館だよりや朝読書によって生徒の読書への興味関心を高めてもらいたい。 土曜日補習の評価が低いことについて、実施していることは良いことであるが、やってよかったと生徒が実感できるような工夫や、生徒に対してしっかりとした学びへの意識付けが必要である。 今後の大学入試を意識して記述式の指導をしっかりと行っていただきたい。 大田市内で閲覧されている広報誌「つむぎ」の評判が良い。学校の様子が分かりやすく発信されており、大田高校が地元の高校であるという意識を高めている。
	本校は、生徒自身の「学びたい」という気持ちや「学ぼう」という気持ちに応えていますか。	93	78	86				
	公開授業や研修を通じて、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善が図られていますか。	93						
	生徒が宿題・課題やスタディサプリ等に取り組むことは、学習習慣の確立や基礎学力の向上につながっていますか。	72	82	77				
	生徒を取り巻く様々な場面での学習で、課題設定・解決スキルを育てることを意識しましたか。	80						
	本校の図書館は、生徒にとって利用しやすいですか。	93		70				
	本校の図書館の蔵書構成(生徒が読みたくするような本、調べ学習に役立つ本等)は充実していますか。	89		73				
「図書館だより」「BOOKHOUSE」の配布、「読んでみよう! コーナー(生徒、教職員のオススメ本の展示)」「図書委員何でもランキング」等の掲示は、読書についての興味関心につながっていると感じますか。	91		57					
地域・家庭とともに成長する学校をめざす	服装・頭髪等、本校の生活指導はきちんと指導がされていますか。	69	89	81	B	<ul style="list-style-type: none"> 地域探究学習等における、キャリア教育が魅力化コーディネーターとの連携により充実したものになった。地域や地域を支える人々との関わりを持つことで地域への愛着や、職業観また、使命感が芽生えることを目指したい。 ボランティア活動を奨励し、積極的に呼びかけた結果、多くの生徒が様々な活動に参加し、自己有用感を得た。今後も推進していく。 服装・頭髪については、特に目立った異装はなく、良好な状況が維持できた。今後は予防的な指導をしっかりとやっていきたい。 SNSに関して、人権侵害につながる誤った使用をしないよう今後も効果的な指導をおこなっていく。 保護者進路説明会は3年生保護者だけでなく、1・2年生保護者に対しても必要に応じて実施していく。 早い段階で進路情報を、普段の学習の重要性と絡めて伝えていく仕掛けを考えていく。 土曜日補習については、教員も生徒もその意義を明確にし、「自走」する生徒が育つように補習授業の形態を検討したい。 地域探究学習等において、地域へ出向いてのフィールド活動や地域の方との交流が地域に関心を持ち愛着へと繋がる機会となった。今後もさらに発展させたい。 前年に続き、PTA総会を平日夜に実施した。出席者数に大きな変化はなかったが、週初めだったため、出席しにくかったかもしれない。今年度より、授業公開日は年2回とした。第1回は前年より多く、50名の参加があったが、2回目は20名と少なかった。公開時間、授業内容など検討を加えたい。 情報発信に関して、保護者・生徒の評価は低下した。さまざまな手段で広報につとめているが、情報が重なっているのが低評価の要因かもしれない。内容の棲み分けをし、魅力あるものにしたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 人によっては、HPより印刷物になっている方が効果的な場合がある。 アンケートで先生方の評価と生徒の評価にギャップのあるものについては、きちんと分析して生徒との距離を埋めるようにして欲しい。 大田高校の生徒は、地元が好きと答える子が多い。地元が好きになる仕掛けは大切である。 オープンハイスクール等の実施により、大田高校に興味を持つ中学生はいるが、理数科、普通科ともに出願者数が少なかったのが残念である。大田高校の魅力を高め、大田市内の中学生が他の地域の高校へ流出していかないようにしてもらいたい。 中学生は先輩の姿を見たり、アドバイスを受けて高校に入りたいという気持ちになる。在校生がきらきらしている姿を中学生に見せてほしい。 中学生に対し、高校に迎えて授業等の行事を行うだけでなく、こちらから中学校へ出かけて何か行うことも企画してはどうか。 合理的配慮やユニバーサルデザインについての考えは、確認し実践して欲しい。 学校が相談しにくい雰囲気であるのは残念である。学校は相談しやすく、楽しい雰囲気であることが大切である。
	部活動の内容は、生徒、保護者にとって満足できるものですか。	79	69	80				
	本校は、学園祭の計画・運営など生徒会の活動が盛んになるように支援していますか。			79				
	本校は、生徒のボランティア活動等への積極的な参加を支援していますか。	83	63	76				
	本校は、保護者進路説明会等を通じて、保護者に進路に関する情報を伝えていますか。	97	83					
	本校は、進路講演会や学年集会等を通じて、生徒に進路に関する情報を伝えていますか。	97		88				
	本校のキャリア教育や地域学習は、生徒に自分の生き方について考えるものになっていますか。	93	63	77				
	放課後補習(3年対象)や土曜日補習(1・2年生対象)は、生徒の学力向上に役立っていますか。	41	72	50				
	本校は、生徒それぞれの進路志望の実現に努めていますか。	97	71	85				
	PTA総会、授業公開日など保護者対象の行事は、有意義なものになっていますか。	72	59					
本校は、「つむぎ」・「泰山木」・大田高ホームページ・学年通信等で、学校の様子を伝えていますか。	96	79	72					
本校は、地域への誇りと愛着を育む地域連携活動が行われていますか。	97	70	85					
自他の生命や人権を大切に育てる	本校は、合理的配慮やユニバーサルデザインを意識した教育が行われていますか。	60			B	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談カンファレンスやケース会議での検討により、個別の合理的配慮に係る対応を行った。ユニバーサルデザインに関しては、最初に授業や教室での約束事を確認した。今後はさらに共通理解を深めた実践をしていきたい。 教育活動全般を通じて、概ね良好な人間関係が築かれている。今後は人権学習や講演会はもとより、様々な学校行事や授業を通じて仲間作りを促進し、お互いの人権を尊重する意識を一層育てていきたい。 避難訓練を、実際の災害を想定した実施にするために改善を施した。緊急連絡については、列車の遅延、熊の出没情報など、メールやHPにより迅速に対応ができた。 スクールカウンセラーについて、生徒、教員への周知は十分であったが、今後は保護者への周知回数を増やして相談に繋げていく。 生徒の健康管理について、今後も引き続き丁寧な対応を継続していきたい。また、保健講話や「ほけんだより」も継続して価値ある内容にしていきたい。 生徒にとって相談しにくい面があるというのは改善していかねばならない。定期的な面談はもとより、様々な場面で生徒が相談しやすい雰囲気づくりに努め、共感という意識を持ちながら、生徒との距離感を縮めていきたい。また、教員間の情報共有を密にして生徒理解に努めるとともに、日頃から生徒に公平に接して生徒の信頼を深めていきたい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 合理的配慮やユニバーサルデザインについての考えは、確認し実践して欲しい。 学校が相談しにくい雰囲気であるのは残念である。学校は相談しやすく、楽しい雰囲気であることが大切である。
	本校は、自尊感情やコミュニケーション力を高める取り組みをしていますか。	90						
	本校は、生徒の安全確保(安全点検、避難訓練、防災教育、緊急連絡メールなど)を適切に行っていますか。	97	91	90				
	スクールカウンセラーの利用について周知されていますか。	91	69	92				
	本校の保健講話や保健室からの情報発信は、自分自身の健康管理に役立っていますか。		92	80				
	生徒の健康管理・維持への対応や指導は適切ですか。	93		86				
	本校では、人権学習や講演会を通じて、人権意識を高める教育が行われていますか。	97	79	89				
	本校は相談しやすい学校ですか。	93	61	58				
本校は、面談等を通して生徒理解に努めていますか。	97	79	81					
総合的に見て、本校に入学して良かったですか。		89	79					